

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能こどもセンター銀河			
○保護者評価実施期間	2024年 4月 1日 ～ 2025年 1月 31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数)	7
○従業者評価実施期間	2024年 4月 1日 ～ 2025年 1月 31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 21日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援計画に沿った支援と多様なプログラムの提供	小集団での療育を基本としていますが、個別の特性や課題解決に向けた取り組みを大事にしています。	小集団と個別療育の時間を持つことで、個々のお子さんの特性に応じた環境設定やプログラムを提供できるように取り組んでいきたい
2	保護者との通所を基本としている。情報共有や課題解決に向けた取り組みができる。	・行っている具体的な対応や声掛けなど、プログラムの意図するところを保護者に説明している。日常の中でも取り組めるような助言を心がけています。 ・親子で活動する場面を作っています。 ・不安や困りごとの相談がしやすい関係づくり ・定期的な面談の実施	・職員のスキルアップに向けた取り組み ・家族支援の機会を有効に活用し、取り組んでいきたい
3	広く清潔な環境があること 活動ごとに部屋を分けるなど構造化しやすく活動しやすい環境がある	・活動により部屋を変えたり、分かりやすい環境設定をしています。 ・課題に集中できるよう、不要なものは置かないようにしています。	個々の特性に合わせた環境設定ができることで、課題に集中できたり、安心して過ごせる場所を提供したい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ベアトレ、研修の開催、家族会やイベントの開催ができていない	自事業所での研修会やイベントの開催は職員体制的にも療育時間内の実施は難しさがあります。	家族会など保護者の情報交換の場の設定や外部研修会等の開催案内など、できることから始められるようにしたい。
2	・各種マニュアルや業務継続計画など策定整備はされているが周知が不十分	各マニュアルの整備、業務継続計画、安全計画など研修や訓練など法令に沿って実施していますが、保護者の皆さんへの周知が十分にできていないところが課題と思います。	HPなどで随時確認や閲覧ができるように変えていく必要がある
3	地域に開かれた事業所運営への周知が不足している	・隣接する学校や町内会などと協力関係にあります。 ・地域のスポ少などのへの駐車場の貸し出しなどを行っています。 ・わかりやすい発信が少ないことも課題の一つです。 ・母体が生協法人からなる組織で、地域の組合員さんからの協力をいただいています。	・HPでの発信や、広く地域に配布する法人広報誌での発信なども取り組んでいきたい。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	多機能こどもセンター銀河						公表日 日			2025年	3月	20
							利用児童数	年	月	日	回収数	7
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見		ご意見を踏まえた対応			
環 境 ・ 体 制 整 備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	6	1					支援内容により部屋を分けるなど、課題 に向かいやすい環境設定を行っている			
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	7						基準以上の職員を配置しています。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	7						適切な環境設定ができているかどうか、 都度確認をしていきたい			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。 また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	7						引き続き、清潔で安心して過ごせる環境 づくりを行ってきたい			
適 切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思いますか。	6	1					個別に対応できる空間があるが、必要に 応じて対応していきたい			
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	7						全職員で取り組めるように配慮している			
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思 いますか。	7						保護者等の移行が確認できる良い機会と 捉え業務改善に取り組んでいきたい			
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提 供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支 援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体 的な支援内容が設定されていると思いますか。	6	1					常に業務改善や提案がしやすい環境や関 係づくりに取り組んでいる			
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	7						今後の課題としたい			
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いま すか。	7						引き続き取り組んでいきたい			
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと 活動する機会がありますか。	2	2	1	1			自事業所での活動の中で他のこどもとの交流機会は 持てていない。保育所等と併用していこどもが大半 であることも理由の一つ。			
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につい て丁寧な説明がありましたか。	6	1					引き続き丁寧な説明を行っていきま す			
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	7						引き続き支援内容の説明を丁寧に 行っていきます。			
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング 等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4	2		1			保護者との通所を基本にしているため、活動の中で 情報提供を行っています。研修会の開催なども今 後取り組んでいきたい			
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況に ついて共通理解ができていると思いますか。	7						引き続き日々の療育の中や面談を通 して行っていきます。			
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	7						ガイドラインをふまえた支援計画の作成 と支援が実施できるよう、日々研鑽を積 んでいきたい。			
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	7						引き続き、同様の評価をいただけるよう 努めていきたい			
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流 の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだ い向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けら れるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1		2	4			項目内すべての取り組みが不十分なた め、今後の課題として取り組んでいき たい。			
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されている とともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・ 説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6	1					新年度は個別での活動を多く取り入れ ていく予定です。子どもの状況に合わ せた支援ができるように努めていき たい			
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると 思いますか。	7						引き続き、同様の評価をいただけるよう に努めていきたい			

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	4	2		1		法令に基づいた情報公表を行っています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	7					引き続き、取扱いに留意していきます
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	3	1	1	2		法令に基づき策定と説明、訓練を行っております。周知が不十分な点は今後の課題として取り組んでいきたい。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	2		1	4		実施しております。周知が不十分な点は今後の課題として、取り組んでいきたい。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	5	1		1		安全計画の元、支援を行っております。周知が不十分な点については今後の課題として取り組んでいきたい。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	6	1				安全に安心してご利用いただけるよう努めていきたい。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	7					引き続き同様の評価をいただけるよう努めていきたい
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	7					今後も地域の他事業所と連携協力をしながら、地域全体で学びあえる取り組みを行っていきたい
	29	事業所の支援に満足していますか。	7					引き続き同様の評価をいただけるよう努めていきたい

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		多機能こどもセンター銀河			公表日		2025年 3月 20日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		利用人数に応じて職員数を調整している	支援内容により部屋を分けるなど、課題に向かいやすい環境設定を行っている			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		必要に応じて個別対応している	基準以上の職員を配置しています。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		活動に不要なものは注目の妨げになるため環境設定を行っている	適切な環境設定ができているかどうか、都度確認をしていきたい			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		毎日の掃除や消毒を徹底している	引き続き、清潔で安心して過ごせる環境づくりを行ってきたい			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		必要に応じて個別に対応している	個別に対応できる空間があるが、必要に応じて対応していきたい			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6		定期的な会議の場や振り返りの機会が設けられている	全職員で取り組めるように配慮している			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		毎年実施している	保護者等の移行が確認できる良い機会と捉え業務改善に取り組んでいきたい			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		定期的な会議や委員会等を行っている	常に業務改善や提案がしやすい環境や関係づくりに取り組んでいる			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6		今後の課題としたい			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		法人内研修は定期的かつ計画的に開催され学びの機会がある。外部研修の案内は全職員で共有され傘下に努めている	引き続き取り組んでいきたい			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		定期的にプログラムの変更や作成を行っている	個々に対応したプログラムの提供ができるように努めていきたい			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		利用開始時のアセスメント、面談でのモニタリングを通してニーズや課題の把握に努めている	アセスメントをもとに適切な個別支援計画が作成できるように取り組んでいきたい			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		定期的にカンファレンスを実施し情報共有や共通認識に努めている				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		カンファレンスにて理解を深め記録の際に振り返りを行っている	日常の中で共有しやすい仕組みを作っている			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		日々の記録を通じて把握しているが活用しやすいツールの見直しや検討が必要	引き続き改善や検討を行いながら取り組んでいきたい			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			ガイドラインをふまえた支援計画の作成と支援が実施できるよう、日々研鑽を積んでいきたい。			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		全職員で立案検討を行っている				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		課題の達成度や定期的な見直しを行い、発達に応じた課題設定をしている				

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6		個々に応じた支援計画を作成している。基本的には小集団での活動だが、必要時個別活動を行っている	新年度は個別での活動を多く取り入れていく予定です。子どもの状況に合わせた支援ができるように努めていきたい
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		支援前には必ず打ち合わせを行い、支援のポイントを確認している	引き続き、チームで協力しながら支援を行っていききたい。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		支援後必ず振り返りを行い、気づきや改善点を共有し次回につなげる	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		支援後必ず振り返りを行い、気づきや改善点を共有し次回につなげる 個別支援計画に沿った記録を作成して	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		定期的にモニタリングを行い、計画の見直しを行っている	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		児発管だけでなく、支援担当者も参加している	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		必要に応じて連携を図り情報共有を行っている	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		必要に応じて連携を図り情報共有を行っている	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		必要に応じて連携を図り情報共有を行っている 就学前の引継ぎ会に参加する	
	28	(28～30は、センターのみ回答)	6		地域全体の質の向上を目的に、気軽な勉強会の企画・開催を行っている。	今後も地域の他事業所と連携協力をしながら、地域全体で学びあえる取り組みを行っていききたい
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	6		質の向上を目指し、外部研修には、積極的に参加をしている	年度後半から職員体制の変化により、外部研修への参加が叶わないこともあったが、可能な限り学部機会を多く持てるように努めたい
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	6		自治体の各機関主催の会議等に参加してる	地域での活動や会議等に積極的に参加していきたい
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	2	療育の時間内での交流機会はないが、全児が保育園等と併用している	園訪問等で連携させていただく中で、利用児の園での様子を見る機会がある。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		面談や療育時、モニターでの見学时等情報共有を行っている	十分な情報交換ができるように取り組んでいきたい
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6		支援中の対応やかかわり方のポイントを伝え、共通理解を深めている	プログラムにより親子で取り組める内容を提供している。研修の実施が叶わず情報提供を随時行っている。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時に説明を行っている	引き続き丁寧な説明を行っていききたい
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		面談の際に確認している	子どもや保護者の意思を尊重し計画作成に取り組んでいきたい。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6		面談の際に確認している	丁寧に説明を行っていききたい
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		面談や必要時に確認している	引き続き丁寧にお話をうかがい対応していききたい

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	2	保護者会等の実施はなかったが、同室した療育中やモニタールームで保護者どおしの交流や情報交換ができていた 支援中に職員がアドバイザー的に助言や交流を促す働きかけを行っている。	保護者会の開催やきょうだい支援等の提供機会が不十分であり、改善課題としたい
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		相談は随時受けられる体制をとっている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		銀河通信の発行やラインでの発信をしている	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			引き続き取扱いに留意していきたい
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			適切な配慮と丁寧な対応を心がけていきたい
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	3	地域への働きかけは不十分	地域に開かれた事業運営を目指して取り組んでいく必要があり、今後の課題としたい
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		年間安全計画により実施している	全てのマニュアルの策定と周知、訓練を行っている。ホームページ等でいつでも閲覧できる工夫が必要と思う。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		年間安全計画により実施している	BCPの策定と定期的な訓練を行っているが、訓練の様子などを周知できるようにしたい。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		確認している	引き続き保護者と情報共有していきたい
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		食事の提供は行っていないが、保護者に情報提供をお願いしている	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		年間安全計画に沿って行っている	引き続き、年間安全計画に沿って研修や訓練を行っていきたい。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		契約時に行っているが、定期的に実施する必要がある	定期的に保護者との確認ができるよう取り組んでいきたい
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		マニュアルに沿って実施検討している	引き続き取り組んでいきたい
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		委員会の設置や研修を実施している	引き続き取り組んでいきたい
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6		法人内の指針やマニュアルが整備されている	指針やマニュアルに沿って対応できるよう、委員会や研修会のなかで取り組んでいきたい。

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	多機能こどもセンター銀河			
○保護者評価実施期間	2024年 4月 1日 ～ 2025年 1月 31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	45	(回答者数)	30
○従業者評価実施期間	2024年 4月 1日 ～ 2025年 1月 31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 20日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・一人ひとりのやりたいを支援しています。主体性を大事にしながら、お友達や職員と関われる活動を提供します。	・自らしたいことを選んで活動できるよう支援しています。 ・したい活動の中で、他者とのコミュニケーションを経験できるように支援しています。 ・楽しく、安心して過ごせる環境設定を行います	・一人ひとりが安心して過ごせる環境設定を行います ・備品の整理整頓などしたい活動が選びやすい工夫をします ・季節ごとの行事や楽しめる企画を行います。 ・
2	・個々の成長に合わせて、5つの領域に基づいた総合的な活動を行っています。	・活動しやすい環境設定を行います。 ・活動が固定化しないように様々な経験ができるよう配慮しています。 ・個々に合わせた活動を通じて、「できた」「やりたい」につなげます ・外出など地域での活動を積極的に取り入れます	・一人ひとりの希望を確認しながら、遊びや活動を通じて様々な経験ができるよう取り組んでいきます。
3	保護者や関係機関との連携を行っています。	・保護者に様々な形で活動の様子をお伝えしています。 ・学校や関係機関との情報共有を行いながら成長を支援しています	・引き続き、保護者や関係機関との連携を行っています。 ・困りごとなど相談がしやすい関係づくりに取り組みます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ベアトレ、研修の開催、家族会やイベントの開催ができていない	自事業所での研修会やイベントの開催は職員体制的にも療育時間内の実施は難しさがあります。	家族会など保護者の情報交換の場の設定や外部研修会等の開催案内など、できることから始められるようにしたい。
2	・各種マニュアルや業務継続計画など策定整備はされているが周知が不十分	各マニュアルの整備、業務継続計画、安全計画など研修や訓練など法令に沿って実施していますが、保護者の皆さんへの周知が十分にできていないところが課題と思います。	HPなどで随時確認や閲覧ができるように変えていく必要がある
3	地域に開かれた事業所運営への周知が不足している	・隣接する学校や町内会などと協力関係にあります。 ・地域のスポ少などのへの駐車場の貸し出しなどを行っています。 ・わかりやすい発信が少ないことも課題の一つです。 ・母体が生協法人からなる組織で、地域の組合員さんからの協力をいただいています。	・HPでの発信や、広く地域に配布する法人広報誌での発信なども取り組んでいきたい。

	公表	保護者等からの事業所評価の集計結果
--	----	-------------------

事業所名	多機能こどもセンター銀河	公表日	2025年3月20日
------	--------------	-----	------------

利用児童数 年月日 回収数 30

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	30				・他の放デイより広いと思います ・十分だと思います	活動内容により部屋を分けて使用しています。特性により安心できる環境設定を目指しています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	26	2		2	・以前より職員さんが少なくなったと感じます ・こどもは男の子なので、男性職員が増えると嬉しいです。 ・少し手が足りていないと思う日があります	基準以上の配置をしています。新年度は新入職員を迎える予定です。安心してご利用いただけるよう努めます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	30				・適切だと思います	引き続き安心して過ごせるように努めます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	30				・とてもきれいです	清潔で心地よい環境を目指します。活動に合わせて部屋を使い分けています。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	30				・受けられていると思います	個別の特性に合わせて対応を行っています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	30				・合っていると思います	現在行っている内容をプログラムとして掲載いたしました。今後は個別のニーズに合わせて見直しをしていきます。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	30				・作成されています	個別支援計画に沿って必要な支援ができるように取り組んでいきます。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	30				・設定されていると思います	
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	30				・行われています	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	27	1		2	・季節に応じた行事やイベントが少ない	多様な体験の機会が提供できるように取り組んでいます
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	8	2	5	15	・利用中に他のお子さんとの関わりはなかったと思います ・職員の方、利用されるお子さんとの関わりで満足している	公園や公共施設等で同じ空間で過ごす機会があります。地域とのつながりができる活動を検討していきます。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	30				・丁寧でわかりやすかったです	引き続き丁寧な説明を心がけていきます。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	30				・説明を受けました	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	15	7	3	5	・相談はいつでもとされていますがまだ詳しくわかりません	研修会や情報提供の機会を検討していきたい。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	29			1	・お迎えの時に今日の様子を教えてもらえてうれしいです	日頃の様子をお伝えしながら、話しやすい関係づくりを行い、共通理解につなげます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	25	4		1	・行われています	不十分な面の改善に努めます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	29	1			・されています	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	10	4	5	11	・送迎時に兄弟への気遣いや掲示してある作品を見るのも楽しみにしていたので、兄弟も好きな場所のようです。 ・兄弟の学校行事があるときなど利用できるので助かっています。 ・保護者イベントがないので交流は少ない	家族支援について検討しご要望にお応えできるよう改善に努めます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	29			1	・対応してくれていると思います	相談しやすい体制や関係づくりを行っていきます。また適切に対処ができるよう取り組んでいきます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	30				・ラインが使えるようになりとても便利になりました。 ・されています	

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	26	2		2	・お便りを増やしてほしい ・写真をもっと見たい ・発信されていると思います	ご要望にお応えできるよう取り組んでいます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	30				・気を付けていると思います	引き続き取扱いに留意していきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	22	3		5	・していると思います	マニュアルの策定や訓練の実施をしています。周知の方法について検討していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	24	1		5	・行われています	年間計画に沿って訓練が行われています。保護者のみなさまにも実施の報告を行っています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	27	2		1	・行われていると思います。	安全計画を策定し、配布しています。周知の方法について検討し取り組みます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	24	3		3		安心してご利用いただけるよう、説明の徹底に取り組みます。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	30				・とても安心できます。丁寧に対応くださっていますし、施設内も清潔感があります。 ・リラックスしています	引き続き安心して来ていただけるよう職員一同取り組みます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	29	1			・毎回銀河に行くことを楽しみにしています ・昔から利用させていただいているので、本人も安心して楽しく通っています。 ・夏休みの活動でドライブや外食をしたことが楽しかったと喜ぶです	引き続き楽しくご利用いただけるように取り組んでいます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	30				・細かく対応くださってありがたいです。子供のできることを伸ばしてもらっていると感じます ・満足しています ・こどもの特性に対応くださりいつもありがとう	個別の特性やニーズに合わせてご利用いただけるように取り組みます。ご要望など遠慮なくお聞かせください。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		多機能こどもセンター銀河		公表日		2025年 3月 20日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6			活動によりスペースを分けて使用しています。安心して過ごせる環境設定を目指します。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	6		必要に応じて個別対応している	安全に活動ができるよう基準を超える配置をしています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		活動別に部屋が分かれている。	活動によりスペースを分けるなど環境設定を行っています。室内はバリアフリーで広いスペースも多く見守りがしやすいつくりになっています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		毎日の掃除や消毒を徹底している。 静と動の活動場所を分けて対応している	子どもの活動に合わせた静と動と食の空間があり、屋外遊技場もある。感染症予防に配慮し常時換気や消毒を徹底しています
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		必要に応じて個別対応している	必要に応じて個別で過ごせる環境設定をしています。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		定期的な会議の場や振り返りの機会が設けられている	全職員で取り組めるよう配慮している
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		毎年実施している	保護者の意向が把握できる機会と捉え業務改善に取り組んでいきたい
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		部署会議、申し送り、カンファレンス等を実施している 振り返りの機会を設け、よりよい対応方法を検討している	常に業務改善や提案がしやすい環境や関係づくりに取り組んでいる
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	6	外部評価の実施はない	今後の課題としたい
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		法人内研修は定期的かつ計画的に開催され学びの機会がある。外部研修案内は全職員で情報共有し参加に努めている	引き続き取り組んでいきたい
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		HPに掲載している	個々に対応したプログラムが提供できるように努めていきたい
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		アセスメントをもとに個別支援計画を作成している 日頃からの保護者との情報交換を通じてニーズや課題の把握に努めている	アセスメントをもとに適切な個別支援計画が作成できるよう取り組んでいきたい
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		カンファレンスで情報共有や共通理解を図っている	現在の作成手順を継続していきたい
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		日々の申し送りやカンファレンスにおいて情報共有し支援している 記録の際に振り返りを行っている	日常の中で共有や確認しやすい仕組みづくりに取り組んでいます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		個別の記録等を使用し確認している	引き続き改善や検討を行いながら取り組んでいきたい
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			ガイドラインを踏まえた支援計画の作成と支援が実施できるように、日々研鑽を積んでいきたい
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		全職員で立案検討を行っている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		天候や人数等に合わせて活動内容を変更している ねらいや目的、季節などを考慮し皆で楽しめるモノを意識している	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		年齢に応じた活動を取り入れたり、活動内容により個別対応している	集団活動のプログラムは、週ごとに企画し取り組んでいる。個別の活動では、本人のやりたいことを支援する形で取り組んでいる。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		支援前に毎日実施している 来所後の情報共有は所定の用紙を使用している	引き続きチームで協力しながら支援を行っていきたい
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		書面にて情報共有を行っている 当日中には実施できないが、翌日の打合せで共有している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		毎日実施している	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		定期的なモニタリングと見直しを実施している	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせで支援を行っているか。	6		地域交流については不十分である	地域交流については不十分であり今後の課題としたい
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		こども主体で活動ができるよう取り組んでいる	『やりたいを実現する』ことを活動目標の一つに掲げて取り組んでいます
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		児発管だけでなく参画している	多くの職員に参加の機会が持てるよう配慮しています
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		必要に応じて連携を図り情報共有している	関係機関との連携を積極的に行っています。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		必要に応じて連携を図り情報共有している	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6		必要に応じて連携を図り情報共有している	引継ぎ会などに参加し情報共有し安心して利用できるように取り組んでいる
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6		必要に応じて連携を図り情報共有している	卒業後の福祉サービス事業所との引継ぎ会等への参加はないが、問い合わせには対応している
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6		気軽な勉強会への参加をしている	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	3	一緒に活動する機会はないが、検討が必要 地域の子どもの遊び場で空間や遊具等を共有しながら活動する場面がある	今後の取り組みについては検討が必要と思うが、地域にある遊び場等を共有していきたい
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6		参加している	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6			利用児の様子や活動内容をを迎えに際にお伝えしている。個別支援計画の説明も別途行っている。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1	発達に関する講演会の案内や情報提供を行っている	研修等の機会の事業所の主催での活動は今後の課題としたい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時に説明し書面で渡している	引き続き丁寧な説明を行っていきたい
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		必要に応じて対応している	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1	5	保護者会等の実施はできなかった	今後の課題としたい
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		マニュアルに沿って対応する体制がとられている	適切な対応ができるように職員への研修やマニュアルの確認を定期定期に行っていきます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		銀河通信やラインで発信している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		書類等は取扱いルールに沿て対応している 送迎時の保護者との会話などは配慮が必要	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	4	地域への働きかけは不十分なところがある	今後の課題としたい
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		年間の安全計画に沿って実施している	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		年間の安全計画に沿って実施している	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		確認できている	安心してご利用いただけるよう引き続き確認と対応を行っていきます
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		確認できている	個別に対応マニュアルを作成し対応している
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		点検などで安全確認している	年間安全計画をもとに、研修や訓練を実施している。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			文書の配布等を行っているが、周知の方法について今後の課題としたい
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		その都度対応策を全職員で検討し再発防止に努めている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		委員会の設置と研修を実施している	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		契約時に説明している 対応の児がいる場合は、法人内のマニュアルに沿って対応している	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		多機能こどもセンター銀河		公表日			2025 年 3月 20 日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点			
体 制 ・ 運 営 ・ 整 備	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。							
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。							
業 務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、 広く職員が参画しているか。							
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設け ており、その内容を業務改善につなげているか。							
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善 につなげているか 。							
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている か。							
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で 研修を開催する機会が確保されているか。							
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を 作成しているか。							
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者 だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こども の最善の利益を考慮した検討が行われているか 。							
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と 連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。							
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行 われているか 。							
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマ ルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルな アセスメントを使用する等により確認しているか。							
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保 育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容 が設定されているか。							
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行 われているか。							
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行ってい るか。							
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援 の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。							
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重し て支援を行っているか。							
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善 に繋げているか。							
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育 所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っ ているか。							

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。				
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。				
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	24	(自立支援)協議会子こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。				
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。				
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。				
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。				
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。				
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。				
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。				
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。				
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。				
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。				
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。				
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。				
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。				
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。				
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。				
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。				
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。				

非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。				
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。				
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。				
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。				
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。				